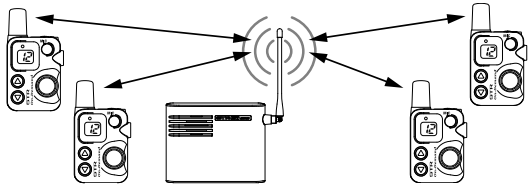


特定小電力中継器
EXR100A 取扱説明書

中継器 EXR100A を使用することで、通話エリアを約2倍に拡大することができます。多層階のビルや別棟との連絡、遮蔽物などで電波の届きにくいエリアの通話確保や通話品質の改善ができます。また、本体内部のスピーカーを拡声器として構内アナウンスに使用することができます。



トランシーバーとの互換性に関して

EXR100A とあわせてお使いになるトランシーバーによっては、拡声器機能や CUE 機能など一部の機能が使えない場合があります。

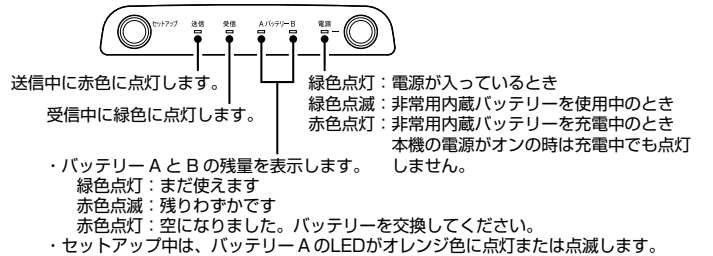
	オンデマンド インカム SRFD10	SRS210/A SRS220/A SR235	SR70A SR100A
中継通話	○	○	○
注意：オンデマンドインカムで 2 チャンネルを使用する時は EXR100A が 2 台必要です。			
本機のスピーカーから音声を出力する 構内アナウンス(拡声器)機能	○	×	×
中継機能を使いながら 構内アナウンス機能を使う	○	○	×
全員に合図を送る CUE機能	○	○	×
特定の相手だけ通話する ホットライン機能	○	×	×

EN029U002 (2209G-DS)

各部の説明

スピーカー
中継している通話の音声、PA(アナウンス)機能の音声、ピープ音などを出力します。音が出ないようにすることもできます。

アンテナ
設置場所にあわせて向きを変えることができます。向きを変えるときはアンテナの根元を持って、矢印の方向に動かしてください。



通話エリアを拡大する中継器として使う

SRFD10でオンデマンドインカムの全ての機能を使用する

EXR100A を 2 台使用します

● 準備をする

EXR100A は、使用する中継用チャンネルにあわせた子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます (オートセッティング機能)。

- 1 SRFD10 のセットモード “**F2 通話モードの設定**” を “**rP**” にします
- 2 チャンネル表示が中継用のチャンネル (表示は 10~18 と 12~29 合計 27 チャンネル) に変わりますので、中継通話をする全ての SRFD10 の A-ch と B-ch を運用するチャンネルにあわせませう。A-ch と B-ch の間隔は 5 チャンネル以上離してください。
- 3 SRFD10 が “**A1**” または “**AU**” モードの場合は、A-ch/B-ch のどちらで送信するかを決めます
A-ch で送信する時：[CUE] キーと [▲] キーを同時に押す
B-ch で送信する時：[CUE] キーと [▼] キーを同時に押す
- 4 EXR100A の電源を入れます



- 5 EXR100A のセットモード “**レピーターモード**” を “**半復信レピーター**” に設定します
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の “Wi-Fi を使って各種機能を設定する” を参照してください。
- 6 オートセッティング機能で EXR100A を設定します。



- 7 SRFD10 を A-ch または B-ch で [アクセス] キーを約 4 秒間押し続けます



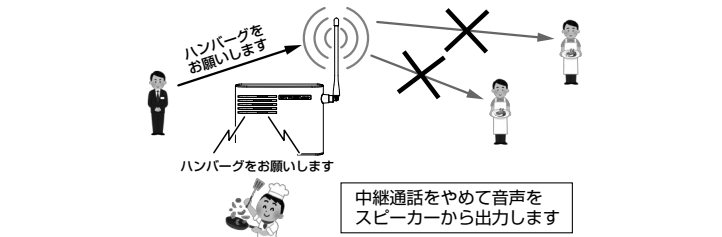
続けてもう 1 台の EXR100A の設定を行います
上記⑥⑦と同じ操作を別のチャンネル (A-ch または B-ch) に設定した SRFD10 を使って設定します
以上で準備は完了です

この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行えます。

- 8 EXR100A を設置する場所を決めます
・子機の電波が届きやすい場所
・障害物や遮蔽物がなく、なるべく高い場所
・屋内または雨などで濡れない場所 (EXR100A は防水構造ではありません)
- 9 EXR100A を外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオプションのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。
別紙 “設置・取付説明書” をご覧ください。
- 10 EXR100A を設置します。別紙 “設置・取付説明書” をご覧ください。
・壁面に固定して設置する
・マグネットを使って設置する

中継機能を使いながら構内アナウンス機能を使う

通常は通話の中継のみを行い、必要な時だけ本機のスピーカーからアナウンスをすることができます。この時の音声は中継しません。



● 設定方法

- 1 上記の “準備をする” と同じ操作を行い、EXR100A と子機を準備します。

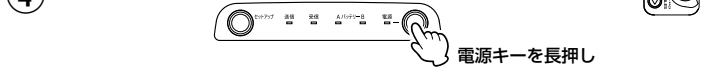
SRS210/A、SRS220/A、SR235、SR70A、SR100Aで使用する (SRFD10ではモード“A”または“b”の単信で使います)

EXR100A を 1 台使用します

● 準備をする

EXR100A は、使用する中継用チャンネルにあわせた子機の電波を受信するだけで、中継通話を行うための設定を自動で行えます (オートセッティング機能)。

- 1 SRFD10 のモードを “**A**” または “**b**” モードにします
- 2 SRFD10 のセットモード “**F2 通話モードの設定**” を “**rP**” にします
SRFD10 以外の子機の場合も中継器を使える設定にします。設定方法は子機の取扱説明書を参照してください。
- 3 チャンネル表示が中継用のチャンネル (表示は 10~18 と 12~29 合計 27 チャンネル) に変わりますので、中継通話をする全ての子機を運用するチャンネルにあわせませう
- 4 EXR100A の電源を入れます



- 5 EXR100A のセットモード “**レピーターモード**” を “**半復信レピーター**” に設定します
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の “Wi-Fi を使って各種機能を設定する” を参照してください。
- 6 オートセッティング機能で本機を設定します



- 7 子機の送信キーを約 4 秒間押し続けます

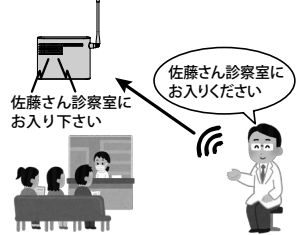


この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルで通話を行う場合は、電源を入れるだけで通話を行えます。

- 8 EXR100A を設置する場所を決めます
・子機の電波が届きやすい場所
・障害物や遮蔽物がなく、なるべく高い場所
・屋内または雨などで濡れない場所 (EXR100A は防水構造ではありません)
- 9 EXR100A を外部電源で使うか、バッテリーで使うかを決めます
外部電源の供給が困難な場合や、イベントなどで一時的に使用する場合はオプションのリチウムイオンバッテリーで運用することができます。
別紙 “設置・取付説明書” をご覧ください。
- 10 EXR100A を設置します。別紙 “設置・取付説明書” をご覧ください。
・壁面に固定して設置する
・マグネットを使って設置する

構内アナウンス用 (拡声器) として使う

EXR100A は中継器としては使用しないで、子機からの音声を本体のスピーカーから出力してお客様の呼出などのアナウンスとして使う、構内アナウンス専用として使うことができます



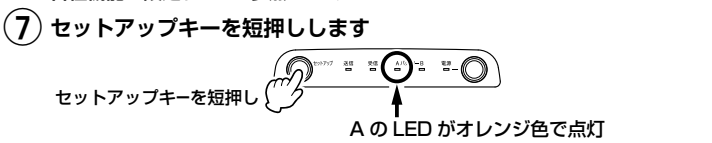
● 設定方法

EXR100A は、構内アナウンスとして使用するチャンネルにあわせた子機の電波を受信するだけで、構内アナウンスを行うための設定を自動で行えます (オートセッティング機能)。

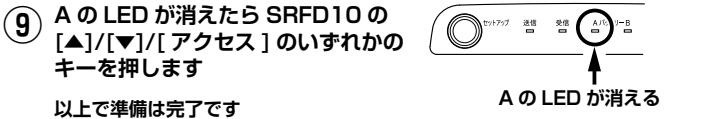
- 1 本機の中継機能は使用しませんので SRFD10 の “**F2 通話モードの設定**” を “**SP**” にします
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください
- 2 SRFD10 の “**08 PA 機能の ON/OFF**” を “**on**” に設定します
設定方法は SRFD10 の取扱説明書を参照してください
- 3 SRFD10 のチャンネルを構内アナウンスで使用するチャンネルに設定します
-1 ~ -9、01 ~ 11 の合計 20 チャンネルの中から選びます
A-ch/B-ch のどちらでも使用できます
- 4 SRFD10 の [▲]/[▼]/[アクセス] キーを同時に押し続けます
“cL” が点滅表示したらキーを放します
SRFD10 の設定は以上です
- 5 EXR100A の電源を入れます



- 6 EXR100A のセットモード “**レピーターモード**” を “**PA 専用**” に設定します
設定はパソコンやスマートフォンの操作で設定します。裏面の “Wi-Fi を使って各種機能を設定する” を参照してください。
- 7 セッティングキーを短押しします



- 8 SRFD10 の [CUE] キーを短押しします



この操作は初めの一度だけです。次回も同じチャンネルでアナウンスを行う場合は、電源を入れるだけでアナウンスができます。

- 10 スピーカーの音量は、EXR100A のセットモード “**PA 音量**” で “**1**” ~ “**5**” のいずれかの数字にします (工場出荷時は “**3**” です)。
- 11 SRFD10 の [CUE] キーを押しながら話します。
アナウンスが終わったら [CUE] キーを放します。

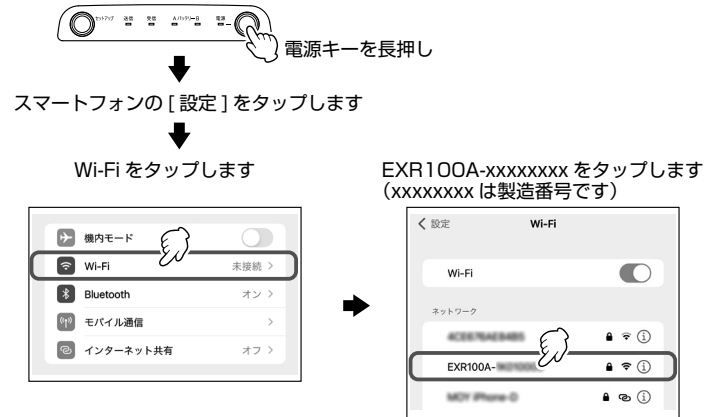
Wi-Fi を使って各種機能を設定する

スマートフォンやパソコンのウェブブラウザの画面で、本機の各種機能をセットアップすることができます。本機に内蔵の Wi-Fi (無線 LAN) 機能を使いますので、インターネット接続環境は必要ありません。

注意 設定する時は EXR100A の電源をオンにしてから “10 分” (初期値) 以内に設定を完了してください。
10 分を超えるとセキュリティの為、自動的に Wi-Fi が切断されます。

スマートフォン (iPhone) で設定する

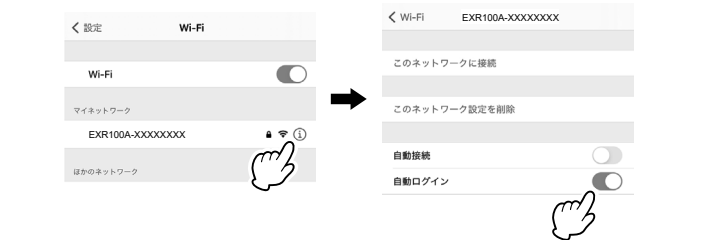
一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



パスワード入力画面でパスワードを入力して [接続] をタップします。

自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。

・自動的にブラウザが起動しない場合は、[設定] をタップした後の “Wi-Fi” 画面で [EXR100A-xxxxxxx] の右にある [i] をタップし、次の画面で自動ログインを “ON” にしてください。



・自動ログインしない場合は、ご使用になるブラウザのアドレスバーに直接 [192.168.1.1] と入力すると、セットモード画面を表します。

画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。

Wi-Fi 設定

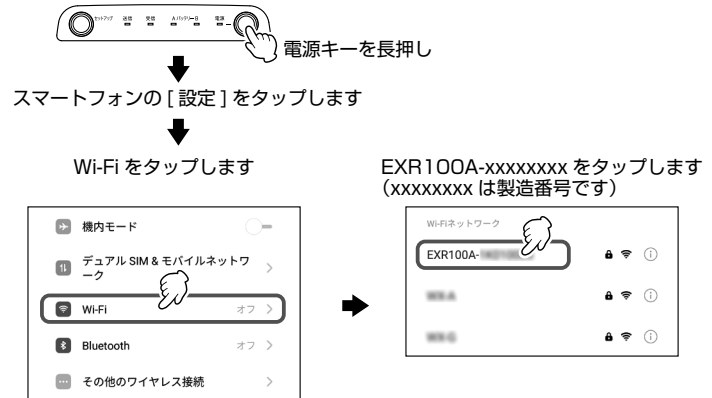
1. セットモード画面一番下の [Wi-Fi 設定] をタップまたはクリックすると、本機の Wi-Fi 設定変更画面が表示されて、下表の各項目を設定できます。通常は設定する必要はありません。

項目名	初期値
SSID	EXR100A-xxxxxxx (xxxxxxx は本機の製造番号)
Password	12345678
IP アドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1

2. [設定する] をタップまたはクリックすると、設定値が保存されます。

スマートフォン (Android) で設定する

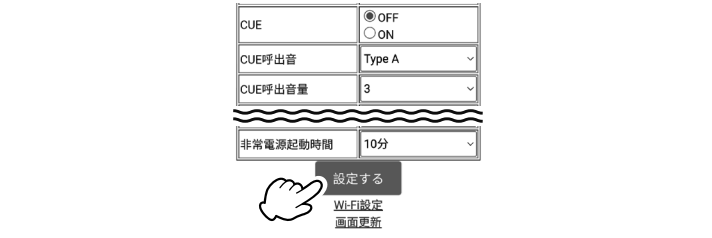
一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



パスワード入力画面でパスワードを入力して [接続] をタップします。

自動的にブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。

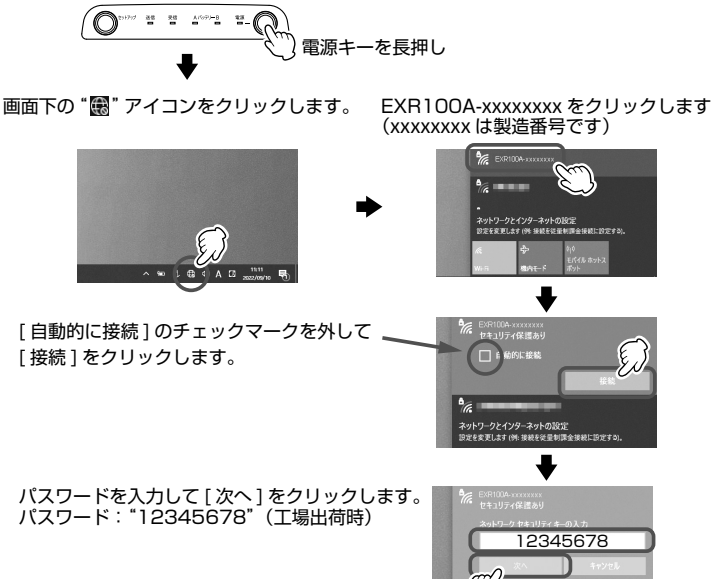
画面をタップして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をタップすると、本機に設定値が保存されます。



パソコンで設定する

Wi-Fi (無線 LAN) 機能のあるパソコンが必要です。

一度電源をオフにしてから再び電源をオンする



自動的にウェブブラウザが起動してセットモード画面が表示されます。

画面をクリックして設定を変更して、画面一番下の [設定する] をクリックすると、本機に設定値が保存されます。



セットモード一覧

項目名	設定値 (太字：初期値)	設定内容
レピーターモード	半復信レピーター PA 専用	半復信レピーター 受信した音声を中継します。中継しながら音声をスピーカーから出力することもできます。 PA 専用 “PA 用 CH 設定 A” と “PA 用 CH 設定 B” で設定したチャンネルの音声をスピーカーから出力します。両方の音声を同時に出力することはできません。また、この時の音声は中継しません。
半復信 CH	10 ~ 18 / 12 ~ 29	中継チャンネル設定 ※オートセットアップでも設定できます。
半復信 グループコード	OFF / 01 ~ 51 ~ 158	グループコード設定 ※オートセットアップでも設定できます。
PA 用 CH 設定 A	1 ~ 9 / 01 ~ 05 ~ 11	PA 用 CH (A) で受信するチャンネルを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA グループコード A	OFF / 01 ~ 51 ~ 158	PA 用 CH (A) で使用するグループコードを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA 用 CH 設定 B	1 ~ 9 / 01 ~ 10 ~ 11	PA 用 CH (B) で受信するチャンネルを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
PA グループコード B	OFF / 01 ~ 52 ~ 158	PA 用 CH (B) で使用するグループコードを設定します。※オートセットアップでも設定できます。
秘話	OFF / 1 / 2 / 3	秘話モード設定 子機の秘話設定と同じ番号にあわせます。
PA 常時 モニター音量	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	受信音量 (全ての通話) 中継している全ての通話音声をスピーカーから出力する時の音量を設定します。
ビープレベル	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	ビープ音量 キー操作時のビープ音量を設定します。
スケルチ	1 / 2 / 3 / 4	スケルチレベル 数字が大きくなるほど弱い信号は中継しくくなります。
送信出力	10mW / 1mW	送信出力 1mW に設定すると連続送信時間の制限 (3 分間で送信を自動的に中止する) がなくなります。1mW の設定は、中継チャンネルが 12 ~ 29 の場合のみ有効です。
ホールド時間	0 (OFF) / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 (秒)	ホールド時間 子機の信号が弱くなり途切れても通話を維持する時間を設定します。
ファスト接続	OFF / ON	ファスト接続機能の ON/OFF 通話エリア内における接続時間を短縮できます。子機もファスト接続機能を ON にしてください。
エリア判定機能	OFF / ON	通話エリア判定機能 通話エリア内かどうかを子機の画面とビープ音で知らせます。
電池音	OFF / ON	内蔵バッテリー切替時の警告音送信 非常用の内蔵バッテリーに切り替わった時に、子機に警告音を送信します。
セーブ	OFF / ON	バッテリーセーブ機能 バッテリー運用時にバッテリーの消費を抑えます。
APO 時間	OFF / 1 / 2 / 4 / 8 (時間)	自動電源オフ機能 電源をオンにしてから設定した時間が経過すると、自動的に電源がオフになります。
コンバンダ	OFF / ON	コンバンダ機能 受信音のザーというバックノイズを軽減します。子機もコンバンダ機能を ON にしてください。
LED	OFF / ON	LED インジケーター 電源以外の LED がすべて消灯します。
CUE	OFF / ON	CUE アラーム音の ON/OFF CUE 機能を使って子機から送信されたアラーム音をスピーカーから鳴らします。
CUE 呼出音	Type A / Type B / Type C	CUE アラーム音の種類を設定
CUE 呼出音量	1 / 2 / 3 / 4 / 5	CUE アラーム音の音量
PA 音量	OFF / 1 / 2 / 3 / 4 / 5	PA 機能動作時のスピーカー音量 PA 機能で音声をスピーカーから出力する時の音量を設定します。
Wi-Fi 起動時間	5 / 10 / 15 (分)	Wi-Fi でのセットモード設定が可能な時間 本機の電源がオンになってから、Wi-Fi によるセットモードが可能な時間を設定します。
非常電源起動時間	10 / 20 / 30 / 40 / 50 / 60 (分) 連続	内蔵非常電池で運用できる時間 店舗の閉店後に電源がシャットダウンした後など、内蔵の非常電池で運用できる時間を設定します。なお、内蔵非常電池で運用中に CUE 信号を受信すると、設定した時間に関係なく内蔵非常電池が無くなるまで連続で運用します。

初期設定に戻す (オールリセット)

本機の全ての設定を工場出荷時の設定に戻します。

- 電源ボタンを長押しして電源をオフにします。
- セットアップボタンを押しながら電源ボタンを長押しして電源をオンにします。以上でリセットは完了です。

通話エリア判定機能

本機にアクセスする子機に対し、定期的にエリア判定用の確認信号を送出します。子機側では中継エリア (通話エリア) 内にいるかどうかを、画面表示とビープ音で確認できます。

対応トランシーバー：SR235、SRS220/A、SRS210/A (2022 年 9 月現在)

状況	電子音	画面表示
中継エリア内	中継エリア内になった時に“ビビッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が点灯する
中継エリア外	中継エリア外になった時に“ブッブッ”と鳴る	電子音が鳴った後“圏内”が点滅する

注意 グループコードが設定されている場合のみ動作します。

- 本機のセットモードの “**エリア判定機能**” を “**ON**” に設定します。パソコンやスマートフォンの操作で設定できます。詳しくは裏面の “セットモード” を参照してください。
- 子機の “コールバック機能” を “ON” に設定します。設定方法は、子機の取扱説明書を参照してください。
- 以上で設定は完了です。

正しくご使用いただくために

- ◎ 当社純正品以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます。
- ◎ 本機の動作温度範囲は - 20℃ ~ +50℃ です。

アフターサービス

正常なご使用状態で万一故障した場合や点検・修理・製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

八重洲無線株式会社

- ◎ お買い上げいただいた日から 3 年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。非常用内蔵バッテリーは消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外になります。
- ◎ 非常用内蔵バッテリーの交換 (有償) は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。

定格

送受信周波数 (12.5kHz ステップ)
10ch ~ 18ch : 440.2625MHz ~ 440.3625MHz
421.8125MHz ~ 421.9125MHz
12ch ~ 29ch : 440.0250MHz ~ 440.2375MHz
421.5750MHz ~ 421.7875MHz

電波型式 : F2D、F3E
通信方式 : 半復信方式
送信出力 : 10mW 以下 / 1mW 以下
受信感度 : - 14dBμV 以下 (@ 12dB SINAD)
低周波出力 : 最大 4W (@ 10.5V 外部電源使用時)
最大 1.5W (@ 7.2V SBR-34L 使用時)
動作温度範囲 : - 20℃ ~ + 50℃
定格電圧 : DC3.6V/DC7.2V/DC10.5V (動作範囲 : 3.24V ~ 12V)
本体寸法 : 約 155×125×37mm (幅×高さ×奥行、アンテナおよび突起部を含みます)
本体重量 : 約 430g
※ この定格は性能向上のため予告なく変更することがあります。
※ RoHS 指令準拠

オンデマンドインカム以外の子機で使用する場合

SRS220/A、SRS210/A、SR235 はグループコードの表記が本機と異なりますので、下表を参考にグループコードを設定してください。

例：EXR100A が “51” のグループコードに設定してある時は、子機のグループコードを “D017” に設定します。

上記機種種のグループコード表示例

本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード	本機のコード	子機のコード
01 GP01	69 D114	92 D244	115 D364	138 D526	02 GP02	70 D115	93 D245	116 D365	139 D532
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
49 GP49	72 D122	95 D250	118 D411	141 D565	50 GP50	73 D125	96 D251	119 D412	142 D606
51 D017	74 D131	97 D252	120 D413	143 D612	52 D023	75 D132	98 D255	121 D423	144 D624
53 D025	76 D134	99 D261	122 D431	145 D627	54 D026	77 D143	100 D263	123 D432	146 D631
55 D031	78 D145	101 D265	124 D435	147 D632	56 D032	79 D152	102 D266	125 D445	148 D654
57 D036	80 D155	103 D271	126 D446	149 D662	58 D043	81 D156	104 D274	127 D452	150 D664
59 D047	82 D162	105 D306	128 D454	151 D703	60 D050	83 D165	106 D311	129 D455	152 D712
61 D051	84 D172	107 D315	130 D462	153 D723	62 D053	85 D174	108 D325	131 D464	154 D731
63 D054	86 D205	109 D331	132 D465	155 D732	64 D065	87 D212	110 D332	133 D466	156 D734
65 D071	88 D223	111 D343	134 D503	157 D743	66 D072	89 D225	112 D346	135 D506	158 D754
67 D073	90 D226	113 D351	136 D516	68 D074	91 D243	114 D356	137 D523		